■中四国地域以外「bikebiz(バイクビズ)」取り組み紹介

タイトル	～サスティナブルな自転車づくりと活用～				
団体名	一般社団法人 Spedagi Japan（スペダギ ジャパン）				
分野	エネルギー・ 地球温暖化対策	健康・ レジャー	観光・交流	安全・快適 ハード事業	安全・快適 ソフト事業
対象地域	山口、八王子：奥多摩地区				
URL	http://spedagijapan.com				
団体の概要	所在地：山口県山口市阿東徳佐中 3656-1 会　長：明日香　健輔				
目的・ねらい	地域でのサスティナブルなモノづくり、コトづくり				
概要	（1） インドネシアで行われている、地域資源を生かしたデザインによって衰退しつつある村を元気にする運動である Spedagi（スペダギ）と連携し、過疎化に悩む日本でのモノづくり、コトづくりに取り組んでいます。 （2） 山口の阿東にある廃校を利用した阿東文庫内に Spedagi Ato プロジェクトの拠点を設け、インドネシアでデザイン・開発されたバンブーバイクに倣って、阿東の竹をフレーム材とした竹の自転車の開発を行っています。 また、バンブーバンクによる自転車の組み立て体験と阿東サイクルツアー（インバウンド向けの廃校を巡るツアー・地域での小商いを巡るツアーを行っています。） （3） 八王子・奥多摩地区の Spedagi Tokyo では、竹を使った子供向けのキッズバイクを開発中です。				
体制	Spedagi Japan 統括のもと Spedagi Ato プロジェクトと Spedagi Tokyo プロジェクトを進行中				
これまでの成果	Spedagi Ato では、山口情報芸術センター「ＹＣＡＭ」と連携して「世界の村デザイン会議」を開催。 竹の自転車を試作し阿東の地区での廃校を巡るツアー、小商いで暮らす人のツアーをインバウンド向けに実施、また、移住希望者向けツアー（山口市・県）も実施。				
今後の課題と展望	製品完成に向けた技術・ノウハウの蓄積と人材育成及びそのための地域連携と資金作り。				
団体からのメッセージ	地域でのサスティナブルなモノづくり、コトづくり、人づくりのデザインと実践を根強く、あきらめることなく、地道に時間をかけてじっくりと行っていきます。				